

# Game Report

開催場所：九州共立大学 鶴鳴記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 9 月 10 日(土)

試合時間：18:20～

主審：寺田 祥

副審：山崎 誠二

東海大学九州	○ 8 5	20	—1st—	11	● 7 9	九州国際大学
		12	—2nd—	20		
		28	—3rd—	27		
		25	—4th—	21		

## 第 1 ピリオド

序盤から両チームとも一步も譲らない攻防を繰り広げる。東海大は # 2 3 趙のインサイドプレー、# 2 長野のアシストで得点を重ねる。対する九国大は、# 2 7 川口の 3 P シュートや # 1 5 木下のシュートで応戦する。しかし、東海大は素早いパス回しから得点を重ね、九国大を突き放しにかかる。九国大は流れを止めようとタイムアウトを請求。その後、# 1 5 木下のインサイドプレーによって逆転を試みるも、東海大は # 2 長野のアシストからのシュートを確実に決め、20-11、東海大リードで第 1 ピリオドが終了。

## 第 2 ピリオド

点差を縮めたい九国大は、ディフェンスでプレッシャーを与え、# 1 4 江崎のスティールからバスケットカウントをもらう。その後も積極的にリバウンドに絡むも、中々得点を重ねる事が出来ない。対する東海大は、# 2 1 谷里の 3 P シュートなどで安定して得点し、リズムを崩さない。ところが終盤に東海大のミスが目立ち始める。すかさず九国大は # 1 4 江崎を筆頭に、# 3 福山、# 2 7 川口らの 3 P シュートで得点し流れを呼び込むと、32-31、1 点差まで詰め寄り前半を終える。

## 第 3 ピリオド

前半の勢いのまま、九国大は果敢にリングへ向かい、# 2 7 川口、# 1 4 江崎の連続 3 P シュートが決まり逆転に成功する。対する東海大は、# 7 林のシュート、# 2 3 趙のインサイドプレーを中心に得点を重ねる。両チームとも一進一退の攻防戦が続く。終始シュートが入り続け、同点で第 3 ピリオドを終了すると思いきや、東海大 # 8 佐竹のオフェンスリバウンドからのブザービーターが決まり、60-58 の東海大 2 点リードで最終ピリオドへ。

## 第 4 ピリオド

序盤から互いに逆転を許しながらも 1 本 1 本のシュートに緊張感が走る。九国大は # 1 4 江崎の得点や、# 2 7 川口の本日 8 本目となる 3 P シュートを沈め、最後の追い上げを見せる。対する東海大は、# 2 長野の冷静なゲームメイクから # 7 林がシュートを決め、逆転を許さない。終盤、東海大 # 8 佐竹がオフェンスリバウンドからバスケットカウントをもらい、点差を 4 点に広げた。残り 1 : 00 で九国大の得点が止まる。最後は東海大が粘り、85-79 で東海大が接戦をものにした。